

令和5年度 学校評価アンケート 集計結果とまとめ(自己評価)

実施期間:令和5年11月10日~24日まで。Google Workspace の Google フォームにより回答。回答数は、生徒340件(対象生徒数373名・回答率91.1%)、保護者319件(在籍生徒数>家庭数)。令和5年度調査では、生徒17人、保護者16名がおおよそ1%に当たる。

この調査は、学校運営の改善を目的として、本校在籍の生徒及びその保護者の協力により実施しています。

右ページ「学校評価アンケート集計結果一覧」をご参照のうえお読みください。また、個々項目の集計結果については、本校学校 HP に掲載しております。そちらをご参照ください。

調査結果の分析概要は次の通りです。

《調査結果に基づく学校としての現状の分析》

令和5年度、赤羽根中学校は「主体的に取り組む姿から学びが広がる学校を目指して」を重点目標として《信頼される学校》《安心して生活できる学校》《学びやすい学校》になることを目指して教育活動に取り組んできました。

その取り組みへの評価として、令和5年度は肯定的な回答の減少が全体としての傾向として見られます。特に生徒の回答においては昨年度に比べ、13項目で減少が見られます。

肯定的な回答が増加した項目としては、生徒では「地域との交流」・「校則」・「キャリア教育」・「学級活動への取り組み」が、保護者では「入学してよかった」・「家庭との連携」・「教師の協力」・「いじめ・暴力への取り組み」・「危機管理」・「生徒の自主性を伸ばす」・「部活動」が挙げられます。

肯定的な回答が80%を超える項目として、生徒では「授業の学ぶ雰囲気」・「分かりやすい授業」・「多面的な評価」・「生徒の自主性を伸ばす」・「部活動」が、保護者では「入学してよかった」・「家庭との連携」・「生徒の自主性を伸ばす」が挙げられます。

各ご家庭の目から見て、重点目標にかかわる「生徒の自主性を伸ばす」が概ね肯定的な回答であったことは「入学してよかった」の回答につながるものととらえています。また、「家庭との連携」の評価の高さは、本校教員の日頃のかかわりの表れであると受け止めています。

生徒の目から見て「授業の学ぶ雰囲気」、「分かりやすい授業」、「多面的な評価」、「生徒の自主性を伸ばす」の各項目の肯定的な回答が8割を超えていることも、校内研究をはじめとした授業づくりと適正な学習評価におけた工夫と研さんの結果として受け止めていますが、減少傾向にあることについては、その課題の解消について検討の必要性を感じています。

また、保護者回答では微増しているものの生徒回答で減少がみられる「いじめ・暴力への取り組み」・「相談できる先生」・「美化活動」・「危機管理」の各項目については、《安心して生活できる学校》に向けた検討の必要性を感じています。

なお、自由記述についての概要は次のとおりです。

生徒記述:116(うち25は絵文字等)

記述内容:規則・服装等(21)、学習(10)、部活動(10)、学年・学級指導(4)、相談・支援(8)、その他感想など

保護者記述:37

記述内容:学習評価・支援・進路指導等(11)、学校運営・規則等(7)、情報発信(4)、その他感想など

お寄せいただいた課題としては、生徒の個性に配慮した学習・生活面でのケアの在り方や相談体制の改善 / COCOO 等情報発信ツールの効果的な活用 / 日常の服装 / 学校教育としての継続性と教員の情報共有 / 学校施設や学校図書など教育環境の整備等がありました。

今回の調査結果と分析は全教職員で共有し、来年度に向けた改善に活かしてまいります。調査へのご協力ありがとうございました。